「基本理念・基本方針」検討にあたっての要素(委員アンケートより)

■ 区のシンボル、区民の誇り、空間

【区のシンボル、区民の誇り】

- ・区民が誇れる、区民のシンボル
- ・区の歴史や文化を継承、発展させる庁舎
- ・区民の知恵や思いが詰まった庁舎
- ・区民が用事がなくてもわざわざ行く庁舎
- ・周辺環境に調和し、緑豊かでシンボルとなる庁舎
- ・夢と希望がふくらむ庁舎
- ・区への愛着がにじみ出るような庁舎
- ・建築物の正面や外周部、色・素材など、明るく親しみやすい庁舎
- ・毎日行きたい、身近なみんなの庁舎、区政を身近に感じられる庁舎
- ・船堀にマッチした庁舎
- ・区民と共につくるe-庁舎、区民の力が活きる庁舎、区民の力を活かす庁舎

【空間】

- ・多くの人が集い、賑やかな空間としての庁舎
- ・区の特色である水と緑あふれる、優しいぬくもりをもった庁舎
- ・都心の中で安らぎやゆとりを感じられる空間、建物配置。庁舎まわりの潤いある環境
- ・区民、企業、団体による協働の場、コミュニティ空間を備えた庁舎
- ・区民、企業、団体が行政とコミュニケーションの取りやすい、開かれた庁舎
- ・情報交換や発信など、コミュニケーションを行う場として開かれた庁舎

■利便性・快適性

【利便性】

- ・区民や区職員の満足度を高めるとともに、10年後を想定して区民との関わりや働き方などの先進事例 となることを目指す
- ・行政手続き以外にも区民が利用できる施設(カフェ・食堂等)が充実した庁舎
- ・来庁者が庁舎内を移動しやすく、多言語対応を含め表示の分かりやすい庁舎
- ・スペースにゆとりのある駐車場・駐輪場を備えた庁舎
- ・区内各地域からの交通の利便性が確保された庁舎
- ・国や東京都の行政サービスとの連携による利便性向上
- ・利便性が高く、質の良い行政サービスを提供できる庁舎
- ・区民に親しまれ、利便性の高い庁舎
- ・現場で働く職員の声も踏まえた、効率的で無駄のない庁舎

【快適性】

- ・働く人、訪れる人が居心地の良いスペースとなるような空間づくり
- ・全ての人に優しい庁舎
- ・障害や年齢に関係なく、誰もが快適に利用できる庁舎
- ・区民に親しまれ、働きやすい庁舎
- ・子どもを連れても行きやすい庁舎
- ・バリアフリーに十分配慮された庁舎

■ 安全性(防災含む)・環境

【安全性(防災含む)】

- ・区民を守る防災拠点
- · 災害対応型庁舎
- ・災害時に業務が継続でき、区民に情報発信できる庁舎
- ・防災拠点施設として、区民の安全確保ができる庁舎
- ・災害時の救助や復旧の指示、情報の伝達や収集を速やかに行うことのできる庁舎
- ・災害時でも頼れる庁舎
- ・危機管理(災害、事故、テロ対策等)に優れた庁舎
- ・万全なセキュリティ対策が施された庁舎

【環境】

- ・10年後を見据えた環境の先進事例となる庁舎
- ・環境共生、再生エネルギーの活用などSDGsに貢献する庁舎
- ・地球環境に配慮された優しい庁舎
- ・省エネルギーに配慮された庁舎
- ・あたたかく、人と環境にやさしい庁舎

■ 経済性・将来変化への対応

【経済性】

- ・100年後を見据えたライフサイクルコストの低減
- ・経済性に優れた庁舎
- ・財政負担に配慮して建設された、質実剛健な庁舎

【将来変化への対応】

- ・将来への資産となる庁舎
- ・みんなでつくり、育てていく庁舎
- ・人口のピークを見据えながら、使い方などを工夫できる庁舎
- ・次の世代にバトンタッチできる庁舎